

第154回 ホームページ掲載記事

新型コロナウイルス感染症対策も3年目になり、各施設での感染対策など大変な時ではありましたが、個人の感染対策や感染経路の追跡調査ができるように万全の感染対策を講じながら、会場での対面での開催としました。

研究会の中核の洗浄・消毒・滅菌以外に、日々ニュースで取り上げられているCOVID-19の話題を取り入れる事にいたしました。

今回は高階雅紀先生からの基調講演では「より良い滅菌供給業務を目指すために必要なこと」をテーマに医療機器学会から出された”医療現場における滅菌保証のガイドライン2021”のポイントを講演頂き、実際の使い方について大阪大学医学部附属病院材料部でご勤務の齋藤篤先生に「明るいガイドラインの使い方」について苦労話と共に現場で活用した内容を聞かせて頂きました。施設によって滅菌供給部門の規模は違いますが、考える事柄の多い内容でした。

午後からの感染対策の講演は、当研究会役員の大野博美感染管理認定看護師から「人工呼吸器関連肺炎予防の基礎と実際」として実践している呼吸器管理と肺炎予防の講演、続きまして気管内挿管患者の口腔ケアについてでした。会場では“うんうん、そうそう、そうなんだよね”と頷きながら聞かれた参加者が多かったです。

次の兵庫医科大学病院歯科口腔外科の岸本裕充先生からは、口腔内の保清とケアの方法が現在、注目されている分野で明日から現場に活かせる方法でした。ケアの対象者に苦痛でなく、実施する私たちにも継続できる方法を考えられた講演でした。

最後の特別講演はいち早く新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ病院の舵取りをされた、現大阪市立総合医療センター病院長の西口幸雄先生から、先駆けに入院患者を受け入れに踏み切った苦労話、地域の方々に支えられた嬉しかった事、職員の頑張りや心が折れそうな体験話など、涙あり笑いあり喜びありの講演でした。まだまだ続くCOVID-19で疲れながらも足を運んだ参加者に勇気を頂いた講演でした。

対面での講演が難しい中で無事に終了しました。

感染対策を講じながら展示ブースにご協力くださった企業の皆様、ご参加くださいました医療機関や介護施設の方々等、対面でないと習得できない内容を持ち帰られ「参加して良かった」と思ってくださいとありがたいです。

まだまだ、感染対策を継続しながらの開催ですが、これからも頑張りますのでよろしくお願いいたします。

2022年7月

中材業務及び感染対策研究会

萱島 すが